

第9回 諸外国における対日メディア世論調査 調査結果

新聞通信事業に関する調査研究、資料収集、講演会の開催などを行っている公益財団法人新聞通信調査会（理事長 西沢豊）は、2022年11月～12月に「諸外国における対日メディア世論調査」を実施、その結果を18日発表しました。

調査は、米国、英国、フランス、中国、韓国、タイの6カ国において、各国約1,000人の回答を得ました。米国は電話調査とWEB調査の併用、英国、フランス、韓国は電話調査、中国、タイは面接調査で行いました。「対日メディア世論調査」は2015年から年1回この6カ国で行っています。主な調査結果は以下の通りです。

ウクライナ情勢への関心、米、英、仏、韓で80%超

・ウクライナ情勢に関心があるか尋ねたところ、「関心がある」（「関心がある」と「どちらかと言えば関心がある」と答えた人の合計）は、英国（87.8%）、韓国（87.2%）、フランス（83.3%）、米国（81.4%）で80%台だった。一方、中国（69.3%）、タイ（64.5%）で60%台だった。昨年9月に新聞通信調査会が実施した「メディアに関する全国世論調査」では、88.4%を占めた。（資料編1⑤ 図表1）

世界平和への脅威、中国を除く5カ国でロシアが最多

・現在、どの国が世界平和への最大の脅威になっていると思うか尋ねたところ、米国、英国、フランス、韓国、タイでは「ロシア」が最も多かった。欧米3カ国では「ロシア」を挙げた人の割合が50%以上。中国では「米国」を挙げた人が最も多く66.8%。米国、英国、韓国では「中国」、フランスでは「北朝鮮」、中国では「ロシア」、タイでは「ウクライナ」が2位。（資料編2⑤ 図表2）

2023年2月18日
公益財団法人 新聞通信調査会

世界の課題、各国で認識にばらつき

・最近の世界情勢を踏まえて、世界各国で連携して取り組むべき課題は何か尋ねたところ、米国では「戦争や地域紛争の終結・抑止」、英国、フランス、韓国では「地球環境問題」、中国では「核兵器拡散の抑制」、タイでは「感染症拡大の抑制」が最も多かった（2つまで複数回答）。米国、タイでは「核兵器拡散の抑制」、英国、中国、韓国では「戦争や地域紛争の終結・抑止」、フランスでは「国際テロ組織の撲滅」が2位。（資料編2㉟ 図表3）

日本の東アジアでの平和貢献、米国で80%超が評価、中、韓では否定的

・日本は、東アジアの平和と安定に貢献していると思うか尋ねたところ、「貢献している」（「大変貢献している」と「どちらかと言えば貢献している」と答えた人の合計）は、米国で81.4%と最も多く、次いでタイで60.6%、フランスで52.6%だった。一方、「貢献していない」（「まったく貢献していない」と「どちらかと言えば貢献していない」と答えた人の合計）は、中国で68.2%と最も多く、次いで韓国で61.8%だった。（資料編3㉟ 図表4）

日本に対する好感度、韓国で上昇

・日本に対する好感度はタイ 94.7%、米国 84.3%、英国 79.3%、フランス 76.8%。前回と比べると、米国、英国は5 ㊦以上の上昇。中国は前回より 0.8 ㊦減の 25.5%だったが、韓国は 8.7 ㊦増の 39.9%。韓国の日本に対する好感度は過去最高。(資料編 4 ㊦ 図表 5)

・米国は自国、英国、日本、フランス、タイの順に、英国は日本、自国、フランス、タイ、米国の順に、フランスは自国、日本、英国、米国、タイ、韓国の順に 50%以上の好感度。(資料編 4 ㊦ 図表 5)

・中国は自国、フランス、タイの順に、韓国は自国、米国、英国、フランス、タイの順に、タイは自国、日本、英国、フランス、米国、韓国、中国の順に 50%以上の好感度。(資料編 4 ㊦ 図表 5)

・前回からの変化を見ると、中国に対する好感度は米国で 9.4 ㊦、フランスで 5.2 ㊦低下した。英国とフランスは相互に好感度が 8~10 ㊦の増加となった。また、タイに対する好感度は米国で 9.7 ㊦上昇したが、反対に米国に対する好感度はタイで 6.0 ㊦低下した。(資料編 4 ㊦ 図表 5)

日本についての関心は韓国で 10 ㊦上昇

・日本のことが報道されると関心を持って見聞きするのは、韓国で 74.4%と最も高く、以下、米国 58.4%、フランス 54.5%、中国、タイともに 53.3%、英国 37.2%。第7回調査から第8回にかけて、タイと第7回調査を行っていない英国以外の国では軒並み低下したが、今回調査は韓国の 9.9 ㊦増をはじめ、上昇に転じた。(資料編 5 ㊦ 図表 6)

・日本に関する報道で、メディアに期待する内容を挙げてもらった。1位は6カ国で「科学技術」。2位には、米国、英国、フランスは「国際協力や平和維持活動」、中国、韓国、タイは「政治、経済、外交政策」が続いた。タイでは「観光情報」が第7回調査から1位→2位→3位と順位を下げたのに対し、「政治、経済、外交政策」が5位→3位→2位と順位を上げた。(資料編 5 ㊦ 図表 7)

新聞の情報信頼度、中国がトップ

・新聞の情報をどの程度信頼しているかを、全面的に信頼している場合は100点、全く信頼をしていない場合は0点、普通の場合は50点として点数をつけてもらったところ、中国が73.8点で前回より0.6点の上昇、タイが64.6点で0.6点の低下、韓国が56.1点で0.2点の上昇、フランスが55.8点で増減なし、米国が55.4点で2.2点の上昇だった。英国は47.9点で0.2点の低下だった。昨年9月に新聞通信調査会が実施した「メディアに関する全国世論調査」では、新聞の情報信頼度は67.1点だった。(資料編6㉔ 図表8)

・インターネットのニュースを見る時に、ニュースの出所を気にするか尋ねたところ、6カ国すべてで「気にする」(「いつも気にする」と「まあ気にする」の合計)の割合が、「気にしない」(「全く気にしない」と「あまり気にしない」の合計)を大きく上回った。「気にする」と答えた人は、米国が88.8%で最も多く、次いでフランスで84.1%、タイで83.4%。以下、韓国(74.7%)、中国(74.6%)、英国(69.2%)となった。そのうち、「いつも気にする」のはフランスが62.8%で最も多く、次いで米国が57.5%。昨年9月に新聞通信調査会が実施した「メディアに関する全国世論調査」では、「気にする」と答えた人が46.3%、そのうち「いつも気にする」のは12.2%だった。(資料編6㉔ 図表9)

ニュース視聴、米、中はネット、タイはSNS、英、仏、韓はテレビが1位

・ニュース視聴の利用媒体は、米国、中国はインターネットのニュースサイト、英国、フランス、韓国はテレビ、タイはSNS(facebook、twitterなど)が1位(複数回答)。米国、タイはテレビ、英国は新聞、フランスはラジオ、中国はSNS、韓国はインターネットのニュースサイトが2位。(資料編7㉔ 図表10)

・新聞を紙、電子版のどちらで読むかについては、6カ国とも「電子版のみ」が「紙のみ」や「両方」よりも多かった。特に米国、タイ、中国、韓国は50%を超えた。(資料編7㉔ 図表11)

・ネットニュースやSNSを見るのに使用する機器は、6カ国とも「スマートフォン・携帯電話」が1位(複数回答)。(資料編7㉔ 図表12)

調査の概要

●調査国と調査日程、調査方法、調査会社、調査地域

調査国	調査日程	調査方法	調査会社	調査地域
米国	12月2日～12月6日	電話調査 WEB調査 併用	SSRS	全国
英国	11月30日～12月12日	電話調査	IPSOS UK	全国
フランス	11月30日～12月9日	電話調査	CSA	全国
中国	12月2日～12月9日	面接調査	CRCリサーチセン ター	北京、上海、広州、瀋陽、 西安、成都、武漢、合肥、 南京、青島
韓国	12月5日～12月12日	電話調査	Gallup Korea	全国
タイ	11月18日～12月17日	面接調査	IPSOS Thailand	バンコク、チェンマイ、 ウドンターニー、 ソンクラ

※電話調査では、複数回答の質問において、回答に偏りが出ないように、選択肢の読み上げ順をランダムにした。

●回収サンプルの構成

米国	男性	443	44.1%	中国	男性	506	50.6%
	女性	561	55.9%		女性	494	49.4%
	10代(18-19歳)	19	1.9%		10代(18-19歳)	26	2.6%
	20歳代	148	14.7%		20歳代	224	22.4%
	30歳代	193	19.2%		30歳代	191	19.1%
	40歳代	154	15.3%		40歳代	174	17.4%
	50歳代	169	16.8%		50歳代	155	15.5%
	60歳代	174	17.3%		60歳代	157	15.7%
	70歳以上(70-99歳)	147	14.6%		70歳以上(70-78歳)	73	7.3%
合計	1,004	100.0%	合計	1,000	100.0%		
英国	男性	493	51.5%	韓国	男性	506	50.4%
	女性	465	48.5%		女性	498	49.6%
	10代(16-19歳)	39	4.1%		10代(19歳)	14	1.4%
	20歳代	139	14.5%		20歳代	126	12.5%
	30歳代	120	12.5%		30歳代	130	12.9%
	40歳代	151	15.8%		40歳代	179	17.8%
	50歳代	169	17.6%		50歳代	221	22.0%
	60歳代	152	15.9%		60歳代	240	23.9%
	70歳以上(70-92歳)	188	19.6%		70歳以上(70-80歳)	94	9.4%
合計	958	100.0%	合計	1,004	100.0%		
フランス	男性	500	50.0%	タイ	男性	500	50.0%
	女性	501	50.0%		女性	500	50.0%
	10代(18-19歳)	15	1.5%		10代(18-19歳)	37	3.7%
	20歳代	124	12.4%		20歳代	243	24.3%
	30歳代	220	22.0%		30歳代	230	23.0%
	40歳代	142	14.2%		40歳代	260	26.0%
	50歳代	155	15.5%		50歳代	219	21.9%
	60歳代	142	14.2%		60歳代	10	1.0%
	70歳以上(70-99歳)	203	20.3%		70歳以上(70歳)	1	0.1%
合計	1,001	100.0%	合計	1,000	100.0%		

●質問一覧

質問	選択肢
<p>問1. あなたは、次の国々についてどう思っていますか。(回答はそれぞれ1つずつ)</p> <p>(1) 米国 (2) 英国 (3) フランス (4) ロシア (5) 日本 (6) 中国 (7) 韓国 (8) タイ</p>	<p>1 とても好感が持てる 2 やや好感が持てる 3 あまり好感が持てない 4 全く好感が持てない</p>
<p>問2. あなたは、日本のことが報道されると関心を持って見聞きますか。(回答は1つ)</p>	<p>1 とても関心がある 2 やや関心がある 3 あまり関心がない 4 全く関心がない</p>
<p>問3. あなたは、次のことがらを自国のメディアが積極的に報道してほしいと思いますか。(回答はそれぞれ1つずつ)</p> <p>(1) 日本の政治、経済、外交政策 (2) 日本の国際協力や平和維持活動 (3) 日本の科学技術 (4) 日本の歴史と文化 (5) 日本の生活様式や食文化 (6) 日本のファッション、アニメ、音楽 (7) 日本の観光情報</p>	<p>1 積極的に報道してほしい 2 報道してほしい 3 あまり報道しなくてもよい 4 報道しなくてもよい</p>
<p>問4. あなたは、ふだんニュースをどの媒体で視聴していますか。あてはまるものをすべてお答えください。(回答はいくつでも)</p>	<p>1 新聞(紙面) 2 新聞(電子版、オンライン) 3 テレビ 4 ラジオ 5 インターネットのニュースサイト 6 SNS (facebook、twitter など) 7 雑誌</p>
<p>問5. あなたは、インターネットのニュースや SNS (facebook、twitter など) を見る時に、何を使いますか。(回答はいくつでも)</p>	<p>1 パソコン 2 スマートフォン・携帯電話 3 タブレット(例:iPad) 4 その他</p>
<p>問6. あなたは、インターネットのニュースを見る時に、ニュースの出所(報道機関名などの配信元)を気にしますか。(回答は1つ)</p>	<p>1 いつも気にする 2 まあ気にする 3 あまり気にしない 4 全く気にしない</p>
<p>問7. 現在のあなたの日常生活において、新聞の情報をどの程度信頼しているか、点数でお答えください。全面的に信頼している場合は100点、全く信頼していない場合は0点とし、普通の場合を50点としてお答えください。「新聞を読まない」あるいは「分からない」場合でも、大体の感じでお答えください。</p>	<p>0点 10 20 30 40 50点 60 70 80 90 100点</p>
<p>問8. あなたは、ウクライナ情勢に関心がありますか。(回答は1つ)</p>	<p>1 関心がある 2 どちらかと言えば関心がある 3 どちらかと言えば関心がない 4 関心がない</p>
<p>問9. この中から選ぶとすれば、あなたは、現在、どの国が世界平和への最大の脅威になっていると思いますか。(回答は1つ)</p>	<p>1 米国 2 ロシア 3 ウクライナ 4 イラン 5 中国 6 日本 7 北朝鮮</p>

質問	選択肢
問 10. 最近の世界情勢を踏まえて、世界各国で連携して取り組むべき課題は何だと考えますか。(回答は2つまで)	<ul style="list-style-type: none"> 1 戦争や地域紛争の終結・抑止 2 核兵器拡散の抑制 3 国際テロ組織の撲滅 4 各国間の経済格差の縮小 5 感染症拡大の抑制 6 地球環境問題
問 11. 日本は、東アジアの平和と安定に貢献していると思いますか。(回答は1つ)	<ul style="list-style-type: none"> 1 大変貢献している 2 どちらかと言えば貢献している 3 どちらかと言えば貢献していない 4 まったく貢献していない

第9回 諸外国における対日メディア世論調査

2023年2月18日発行

発行 公益財団法人 新聞通信調査会

東京都千代田区内幸町2-2-1

日本プレスセンタービル1階

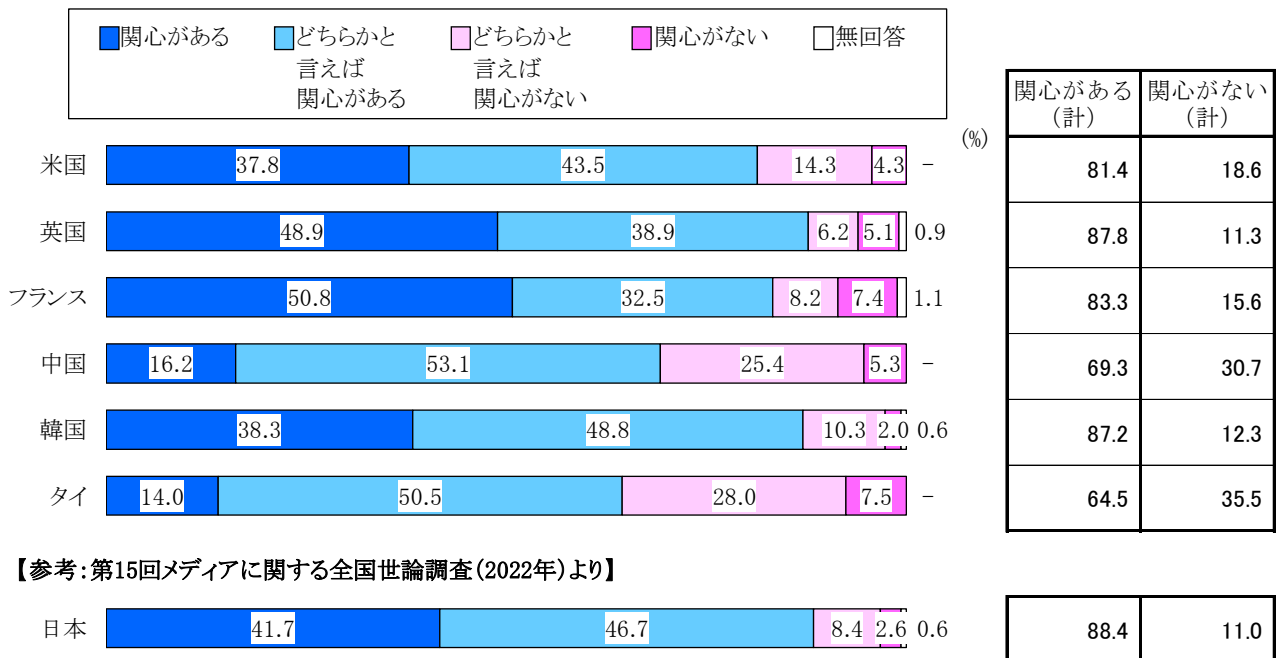
電話 03-3593-1081

資料編

ウクライナ情勢への関心、米、英、仏、韓で 80%超

・ウクライナ情勢に関心があるか尋ねたところ、「関心がある」（「関心がある」と「どちらかと言えば関心がある」と答えた人の合計）は、英国（87.8%）、韓国（87.2%）、フランス（83.3%）、米国（81.4%）で80%台だった。一方、中国（69.3%）、タイ（64.5%）で60%台だった。昨年9月に新聞通信調査会が実施した「メディアに関する全国世論調査」では、88.4%を占めた。

図表1 ウクライナ情勢への関心（問8）



【参考：第15回メディアに関する全国世論調査(2022年)より】

注：図表中の日本については「第15回メディアに関する全国世論調査(2022年)」より参考として表記。
「第15回メディアに関する全国世論調査(2022年)」は2022年9月に全国18歳以上の5,000人を対象に訪問留置法で行い2,993人(有効回収率59.9%)から回答を得た。以下、同じ。

世界平和への脅威、中国を除く5カ国でロシアが最多

- ・ 現在、どの国が世界平和への最大の脅威になっていると思うか尋ねたところ、米国、英国、フランス、韓国、タイでは「ロシア」が最も多かった。欧米3カ国では「ロシア」を挙げた人の割合が50%以上。中国では「米国」を挙げた人が最も多く66.8%。
- ・ 米国、英国、韓国では「中国」、フランスでは「北朝鮮」、中国では「ロシア」、タイでは「ウクライナ」が2位。

図表2 世界平和への最大の脅威と思う国（問9）

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位
米国	ロシア 53.8	中国 23.9	北朝鮮 11.7	米国 5.3	イラン 3.6	ウクライナ 1.3	日本 0.5
英国	ロシア 62.4	中国 11.3	米国 9.6	北朝鮮 5.3	イラン 1.3	ウクライナ 0.9	日本 0.3
フランス	ロシア 51.2	北朝鮮 12.2	米国 11.1	中国 9.4	イラン 4.6	ウクライナ 2.1	日本 0.7
中国	米国 66.8	ロシア 17.5	日本 6.5	ウクライナ 4.7	北朝鮮 1.9	イラン 1.8	中国 0.8
韓国	ロシア 31.5	中国 27.0	北朝鮮 26.8	米国 6.9	日本 4.3	イラン 0.6	ウクライナ 0.1
タイ	ロシア 48.5	ウクライナ 15.7	北朝鮮 12.6	イラン 10.3	米国 7.6	中国 4.5	日本 0.8

世界の課題、各国で認識にばらつき

- ・ 最近の世界情勢を踏まえて、世界各国で連携して取り組むべき課題は何か尋ねたところ、米国では「戦争や地域紛争の終結・抑止」、英国、フランス、韓国では「地球環境問題」、中国では「核兵器拡散の抑制」、タイでは「感染症拡大の抑制」が最も多かった（2つまで複数回答）。米国、タイでは「核兵器拡散の抑制」、英国、中国、韓国では「戦争や地域紛争の終結・抑止」、フランスでは「国際テロ組織の撲滅」が2位。

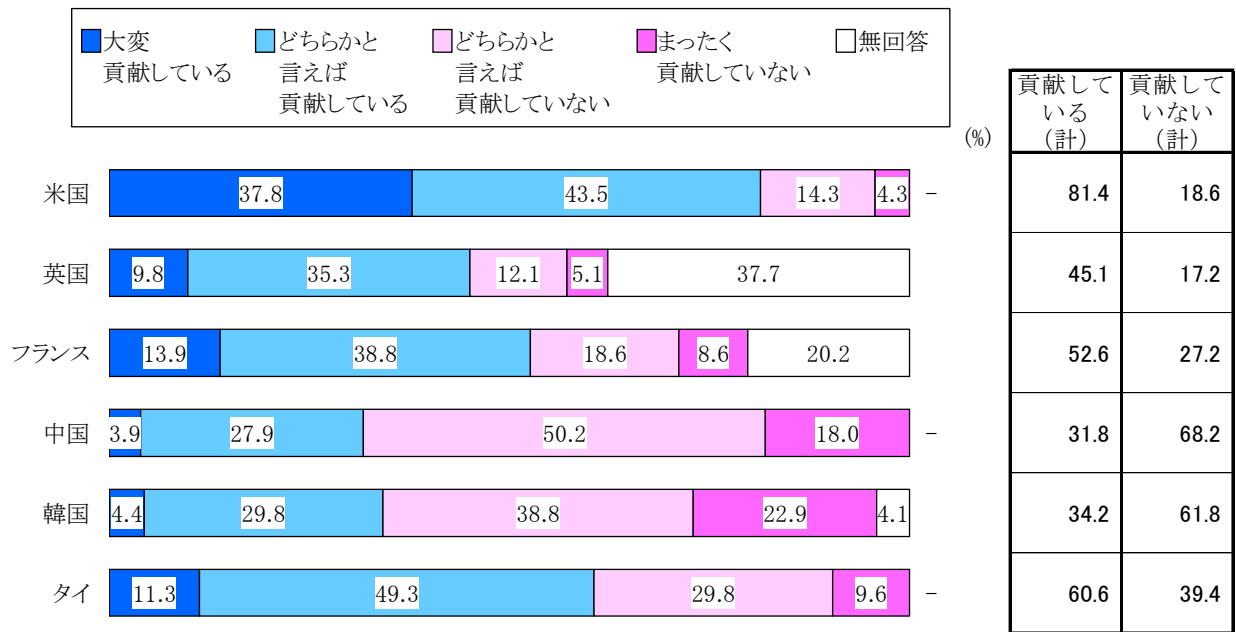
図表3 世界各国で連携して取り組むべき課題（問10）

	1位	2位	3位	4位	5位	6位
米国	戦争や地域紛争の終結・抑止 49.5	核兵器拡散の抑制 39.6	地球環境問題 37.0	国際テロ組織の撲滅 32.5	感染症拡大の抑制 23.6	各国間の経済格差の縮小 17.1
英国	地球環境問題 43.2	戦争や地域紛争の終結・抑止 42.5	各国間の経済格差の縮小 27.7	核兵器拡散の抑制 26.9	国際テロ組織の撲滅 20.7	感染症拡大の抑制 18.0
フランス	地球環境問題 42.1	国際テロ組織の撲滅 34.8	戦争や地域紛争の終結・抑止 34.4	核兵器拡散の抑制 28.1	各国間の経済格差の縮小 26.1	感染症拡大の抑制 15.8
中国	核兵器拡散の抑制 53.3	戦争や地域紛争の終結・抑止 42.1	感染症拡大の抑制 40.4	国際テロ組織の撲滅 24.0	各国間の経済格差の縮小 18.2	地球環境問題 15.2
韓国	地球環境問題 51.4	戦争や地域紛争の終結・抑止 49.6	核兵器拡散の抑制 39.6	各国間の経済格差の縮小 20.5	感染症拡大の抑制 17.6	国際テロ組織の撲滅 11.6
タイ	感染症拡大の抑制 46.5	核兵器拡散の抑制 42.8	戦争や地域紛争の終結・抑止 42.0	国際テロ組織の撲滅 26.2	各国間の経済格差の縮小 22.0	地球環境問題 12.9

日本の東アジアでの平和貢献、米国で 80%超が評価、 中、韓では否定的

- ・ 日本は、東アジアの平和と安定に貢献していると思うか尋ねたところ、「貢献している」（「大変貢献している」と「どちらかと言えば貢献している」と答えた人の合計）は、米国で 81.4%と最も多く、次いでタイで 60.6%、フランスで 52.6%だった。一方、「貢献していない」（「まったく貢献していない」と「どちらかと言えば貢献していない」と答えた人の合計）は、中国で 68.2%と最も多く、次いで韓国で 61.8%だった。

図表 4 東アジアの平和への日本の貢献（問 11）



日本に対する好感度、韓国で上昇

- 日本に対する好感度はタイ 94.7%、米国 84.3%、英国 79.3%、フランス 76.8%。前回と比べると、米国、英国は5ポイント以上の上昇。中国は前回より0.8ポイント減の25.5%だったが、韓国は8.7ポイント増の39.9%。韓国の日本に対する好感度は過去最高。
- 米国は自国、英国、日本、フランス、タイの順に、英国は日本、自国、フランス、タイ、米国の順に、フランスは自国、日本、英国、米国、タイ、韓国の順に50%以上の好感度。
- 中国は自国、フランス、タイの順に、韓国は自国、米国、英国、フランス、タイの順に、タイは自国、日本、英国、フランス、米国、韓国、中国の順に50%以上の好感度。
- 前回からの変化を見ると、中国に対する好感度は米国で9.4ポイント、フランスで5.2ポイント低下した。英国とフランスは相互に好感度が8~10ポイントの増加となった。また、タイに対する好感度は米国で9.7ポイント上昇したが、反対に米国に対する好感度はタイで6.0ポイント低下した。

図表5 各国間の好感度（問1）－「好感が持てる」と答えた人の割合

		対 象 国							
		日本	米	英	仏	ロシア	中国	韓国	タイ
【今回】	米	84.3	87.6	86.5	83.3	9.7	21.6	49.5	74.4
	英	79.3	66.4	77.7	76.1	10.1	28.6	43.3	66.8
	仏	76.8	67.7	75.8	83.3	19.7	27.3	60.2	64.9
	中国	25.5	27.8	44.9	64.7	45.1	97.8	47.5	59.0
	韓国	39.9	81.2	76.4	72.9	16.2	24.5	88.4	56.5
	タイ	94.7	79.6	88.1	86.0	30.6	60.5	74.1	96.7

		対 象 国							
		日本	米	英	仏	*	中国	韓国	タイ
【第8回】	米	79.0	*	83.9	79.6	*	31.0	47.0	64.7
	英	73.3	66.1	*	65.8	*	29.2	40.3	61.9
	仏	78.1	69.7	67.7	*	*	32.5	57.1	63.1
	中国	26.3	29.0	46.7	62.5	*	*	43.6	54.7
	韓国	31.2	81.0	75.1	70.1	*	23.0	*	58.4
	タイ	93.4	85.6	91.5	86.8	*	57.4	72.9	*

		対 象 国							
		日本	米	英	仏	*	中国	韓国	タイ
【第7回】	米	79.6	*	87.0	83.3	*	29.0	46.8	62.4
	仏	77.8	52.2	68.6	*	*	31.0	60.8	63.7
	中国	39.7	26.6	46.0	70.6	*	*	54.0	63.3
	韓国	31.3	69.1	69.1	63.6	*	26.0	*	52.7
	タイ	89.6	72.7	81.8	77.6	*	56.1	64.7	*

		対 象 国							
		日本	米	英	仏	中国	韓国	タイ	
【今回-第8回】	米	5.3	*	2.6	3.7	-9.4	2.5	9.7	
	英	6.0	0.3	*	10.3	-0.6	3.0	4.9	
	仏	-1.3	-2.0	8.1	*	-5.2	3.1	1.8	
	中国	-0.8	-1.2	-1.8	2.2	*	3.9	4.3	
	韓国	8.7	0.2	1.3	2.8	1.5	*	-1.9	
	タイ	1.3	-6.0	-3.4	-0.8	3.1	1.2	*	

		対 象 国							
		日本	米	英	仏	中国	韓国	タイ	
【第8回-第7回】	米	-0.6	*	-3.1	-3.7	2.0	0.2	2.3	
	英	*	*	*	*	*	*	*	
	仏	0.3	17.5	-0.9	*	1.5	-3.7	-0.6	
	中国	-13.4	2.4	0.7	-8.1	*	-10.4	-8.6	
	韓国	-0.1	11.9	6.0	6.5	-3.0	*	5.7	
	タイ	3.8	12.9	9.7	9.2	1.3	8.2	*	

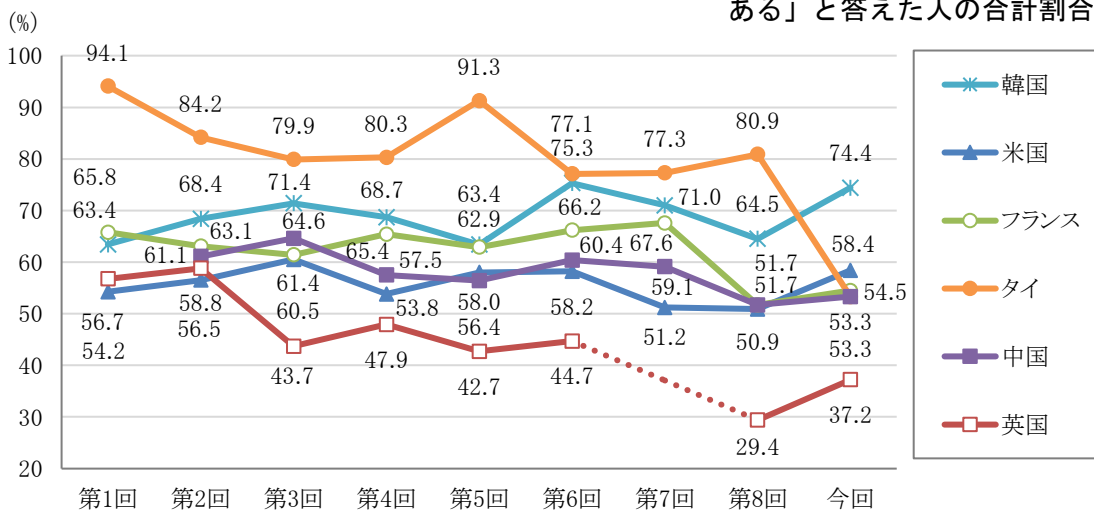
		対 象 国							
		日本	米	英	仏	中国	韓国	タイ	
【第7回-第6回】	米	-3.2	*	1.9	4.2	-14.6	0.1	-2.7	
	仏	2.9	-5.8	-3.4	*	-7.3	8.3	5.6	
	中国	6.2	-19.5	-27.3	-16.5	*	9.0	-8.0	
	韓国	8.6	4.9	0.3	-4.8	-5.9	*	-6.3	
	タイ	-6.1	-14.1	-7.4	-6.2	-13.8	-8.8	*	

※今回は自国、ロシアについても質問した。

日本についての関心は韓国で 10 ㊦上昇

- 日本のことが報道されると関心を持って見聞きするのは、韓国で 74.4%と最も高く、以下、米国 58.4%、フランス 54.5%、中国、タイともに 53.3%、英国 37.2%。第7回調査から第8回にかけて、タイと第7回調査を行っていない英国以外の国では軒並み低下したが、今回調査は韓国の 9.9 ㊦増をはじめ、上昇に転じた。
- 日本に関する報道で、メディアに期待する内容を挙げてもらった。1位は6カ国で「科学技術」。2位には、米国、英国、フランスは「国際協力や平和維持活動」、中国、韓国、タイは「政治、経済、外交政策」が続いた。タイでは「観光情報」が第7回調査から1位→2位→3位と順位を下げたのに対し、「政治、経済、外交政策」が5位→3位→2位と順位を上げた。

図表6 日本が報道されると関心を持つか（問2） — 「とても関心がある」と「やや関心がある」と答えた人の合計割合



図表7 メディアに期待する報道内容（問3）

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位
米国	科学技術 84.0 (79.5/82.3) 1←1←1	国際協力や平和維持活動 79.0 (70.0/71.2) 2←2←2	政治、経済、外交政策 70.6 (65.7/66.1) 3←3←3	歴史と文化 65.0 (60.1/62.6) 4←5←4	生活様式や食文化 64.5 (56.2/57.5) 5←6←6	観光情報 62.4 (60.2/62.3) 6←4←5	ファッション、アニメ、音楽 49.3 (43.2/44.1) 7←7←7
英国	科学技術 61.8 (55.8/*) 1←1←*	国際協力や平和維持活動 51.7 (43.6/*) 2←3←*	歴史と文化 50.2 (45.0/*) 3←2←*	生活様式や食文化 48.0 (43.0/*) 4←4←*	政治、経済、外交政策 42.1 (37.2/*) 5←5←*	観光情報 39.6 (36.4/*) 6←6←*	ファッション、アニメ、音楽 26.7 (25.3/*) 7←7←*
フランス	科学技術 47.3 (46.6/47.8) 1←1←1	国際協力や平和維持活動 41.2 (36.0/35.8) 2←2←4	歴史と文化 38.5 (35.5/40.5) 3←3←2	政治、経済、外交政策 38.4 (34.5/33.4) 4←5←5	生活様式や食文化 38.1 (35.1/36.8) 5←4←3	観光情報 32.5 (28.5/31.6) 6←6←6	ファッション、アニメ、音楽 20.7 (21.2/20.9) 7←7←7
中国	科学技術 75.0 (71.5/70.2) 1←1←1	政治、経済、外交政策 63.3 (58.8/64.5) 2←2←2	観光情報 60.6 (57.8/63.3) 3←3←3	生活様式や食文化 59.6 (57.7/63.3) 4←4←3	ファッション、アニメ、音楽 59.3 (56.9/62.2) 5←5←5	歴史と文化 52.9 (50.6/53.7) 6←6←6	国際協力や平和維持活動 51.0 (44.9/45.1) 7←7←7
韓国	科学技術 80.7 (81.1/84.9) 1←1←1	政治、経済、外交政策 74.5 (76.4/81.3) 2←2←2	国際協力や平和維持活動 73.9 (72.7/76.3) 3←3←3	観光情報 59.5 (54.5/54.4) 4←4←6	歴史と文化 58.7 (52.8/62.9) 5←5←4	生活様式や食文化 52.6 (47.9/55.4) 6←6←5	ファッション、アニメ、音楽 41.3 (35.3/38.1) 7←7←7
タイ	科学技術 75.0 (90.9/85.4) 1←1←2	政治、経済、外交政策 63.3 (82.6/78.3) 2←3←5	観光情報 60.6 (89.5/86.5) 3←2←1	生活様式や食文化 59.6 (82.1/79.0) 4←5←4	ファッション、アニメ、音楽 59.3 (70.6/62.9) 5←7←7	歴史と文化 52.9 (78.0/76.6) 6←6←6	国際協力や平和維持活動 51.0 (82.6/79.4) 7←3←3

※()内は、左から第8回調査、第7回調査の結果

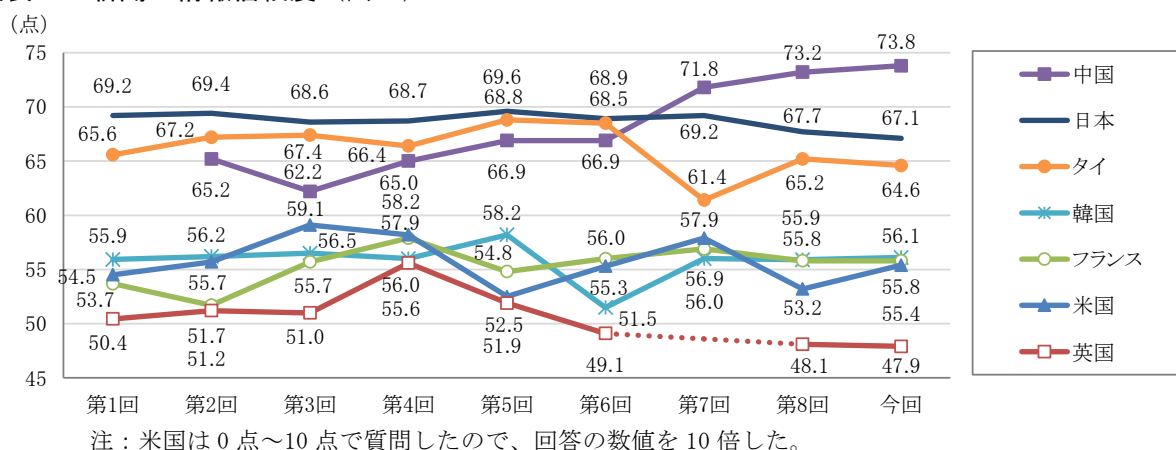
※各国の最下段は順位の変動を示す。左側から今回順位、第8回調査の順位、第7回調査の順位。

青字は順位が上昇、黒字は順位の変動なし、赤字は順位が低下。

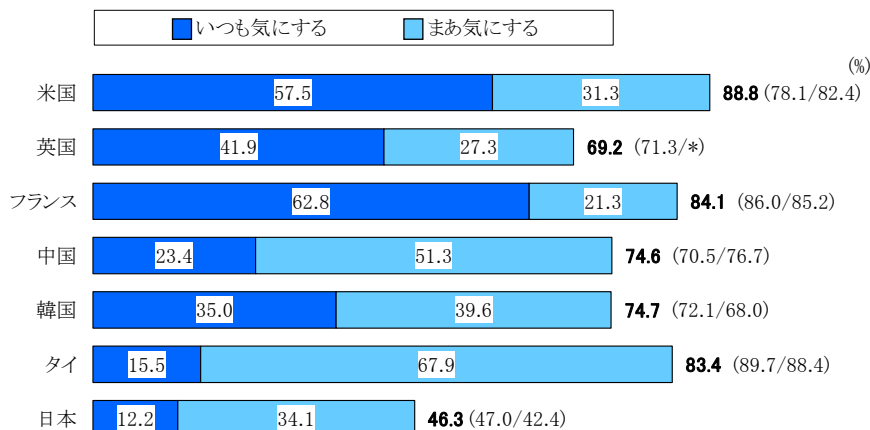
新聞の情報信頼度、中国がトップ

- ・新聞の情報をどの程度信頼しているかを、全面的に信頼している場合は100点、全く信頼をしていない場合は0点、普通の場合は50点として点数をつけてもらったところ、中国が73.8点で前回より0.6点の上昇、タイが64.6点で0.6点の低下、韓国が56.1点で0.2点の上昇、フランスが55.8点で増減なし、米国が55.4点で2.2点の上昇だった。英国は47.9点で0.2点の低下だった。昨年9月に新聞通信調査会が実施した「メディアに関する全国世論調査」では、新聞の情報信頼度は67.1点だった。
- ・インターネットのニュースを見る時に、ニュースの出所を気にするか尋ねたところ、6カ国すべてで「気にする」（「いつも気にする」と「まあ気にする」の合計）の割合が、「気にしない」（「全く気にしない」と「あまり気にしない」の合計）を大きく上回った。「気にする」と答えた人は、米国が88.8%で最も多く、次いでフランスで84.1%、タイで83.4%。以下、韓国（74.7%）、中国（74.6%）、英国（69.2%）となった。そのうち、「いつも気にする」のはフランスが62.8%で最も多く、次いで米国が57.5%。昨年9月に新聞通信調査会が実施した「メディアに関する全国世論調査」では、「気にする」と答えた人が46.3%、そのうち「いつも気にする」のは12.2%だった。

図表8 新聞の情報信頼度（問7）



図表9 ネットニュースを見る時に、ニュースの出所を気にするか（問6）



※棒グラフ右外の数字は「いつも気にする」と「まあ気にする」の合計値
（ ）内は、左から第8回調査、第7回調査の結果

ニュース視聴、米、中はネット、タイはSNS、英、仏、韓はテレビが1位

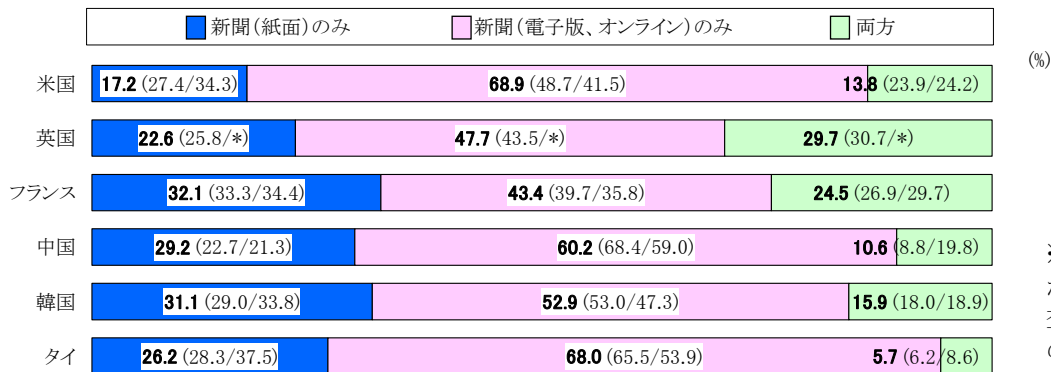
- ・ ニュース視聴の利用媒体は、米国、中国はインターネットのニュースサイト、英国、フランス、韓国はテレビ、タイはSNS (facebook、twitter など) が1位 (複数回答)。米国、タイはテレビ、英国は新聞、フランスはラジオ、中国はSNS、韓国はインターネットのニュースサイトが2位。
- ・ 新聞を紙、電子版のどちらで読むかについては、6カ国とも「電子版のみ」が「紙のみ」や「両方」よりも多かった。特に米国、タイ、中国、韓国は50%を超えた。
- ・ ネットニュースやSNSを見るのに使用する機器は、6カ国とも「スマートフォン・携帯電話」が1位 (複数回答)。

図表 10 ニュース視聴の利用媒体 (複数回答) (問 4)

	1位	2位	3位	4位	5位	6位
米国	インターネットのニュースサイト 63.3 (53.0/54.7)	テレビ 61.9 (70.4/70.5)	SNS (facebook、twitterなど) 51.0 (43.9/47.0)	新聞 49.7 (54.0/52.0)	ラジオ 33.6 (39.6/37.9)	雑誌 10.8 (16.9/16.2)
英国	テレビ 62.6 (68.9/*)	新聞 56.9 (61.0/*)	ラジオ 49.9 (48.3/*)	SNS (facebook、twitterなど) 49.0 (44.7/*)	インターネットのニュースサイト 35.4 (32.8/*)	雑誌 11.3 (13.6/*)
フランス	テレビ 75.9 (75.6/83.0)	ラジオ 67.6 (63.9/66.1)	新聞 67.2 (68.6/76.5)	インターネットのニュースサイト 45.0 (50.1/54.6)	SNS (facebook、twitterなど) 43.7 (45.5/42.0)	雑誌 31.1 (31.0/41.9)
中国	インターネットのニュースサイト 82.5 (85.1/80.1)	SNS (facebook、twitterなど) 72.6 (73.4/70.0)	テレビ 70.9 (67.0/70.1)	新聞 35.9 (39.6/48.0)	ラジオ 18.3 (17.1/16.4)	雑誌 7.5 (10.1/11.7)
韓国	テレビ 65.8 (68.9/72.4)	インターネットのニュースサイト 59.5 (65.6/61.1)	SNS (facebook、twitterなど) 32.6 (26.9/26.4)	新聞 28.8 (33.8/33.4)	ラジオ 12.5 (15.5/12.6)	雑誌 4.2 (3.8/5.0)
タイ	SNS (facebook、twitterなど) 94.3 (91.0/86.0)	テレビ 85.3 (83.4/87.8)	インターネットのニュースサイト 53.2 (49.2/47.3)	新聞 12.2 (11.3/15.2)	ラジオ 8.8 (14.9/6.5)	雑誌 1.0 (1.7/3.0)

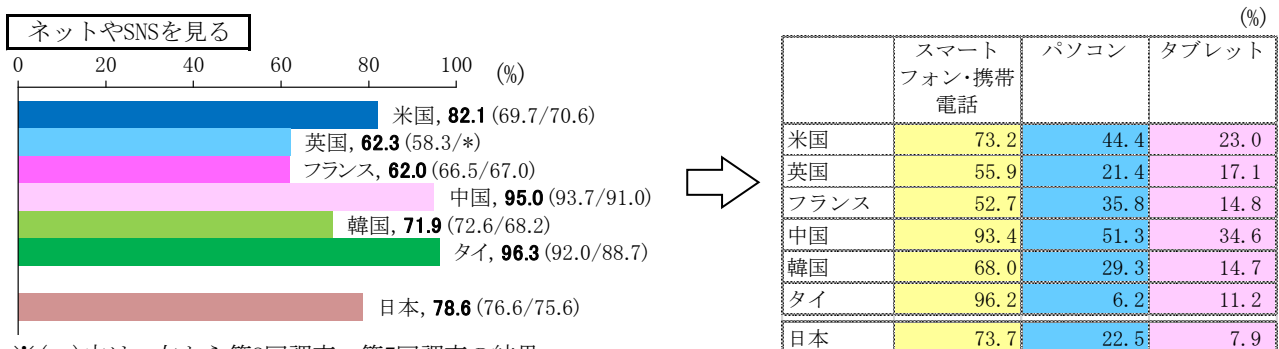
※ () 内は、左から第8回調査、第7回調査の結果

図表 11 新聞を紙、電子版のどちらで読むか (問 4)



※ () 内は、左から第 8 回調査、第 7 回調査の結果

図表 12 ネットニュースや SNS を見る割合と使用機器 (複数回答) (問 4、問 5)



※ () 内は、左から第8回調査、第7回調査の結果

	スマートフォン・携帯電話	パソコン	タブレット
米国	73.2	44.4	23.0
英国	55.9	21.4	17.1
フランス	52.7	35.8	14.8
中国	93.4	51.3	34.6
韓国	68.0	29.3	14.7
タイ	96.2	6.2	11.2
日本	73.7	22.5	7.9